

ドローン配送 離島定期便

粟島—須田港 日用品など

三豊市協定 8月にも運航開始

ドローン（小型無人機）輸送の事業化に取り組む「かもめや」（高松市）は、三豊市でドローンを定期運航する配送事業を始める。港から離島に日用品などを届ける事業で、8月頃を予定。三豊市と街づくりなどに関する連携協定も締結した。離島の人口減対策となるか。

（新居重人）

航路は、粟島と須田港の って遠隔診療の実験を行う約4・2キロ。大型船舶の航 などしてきた。

行がなく、同社は昨年以降、 定期航路の開始は8月初香川大などと一緒に、ヘリ 旬を目標している。島民がコプター型のドローンを使 ら依頼のあった商品を、同



配送事業に使うドローンで離着陸の訓練を行う小野社長（三豊市で）

社が市内のコンビニなどで購入し、一度に最大1キロ・タまでの荷物を毎日3回運ぶ。料金は500円程度を予定している。当面は空路に限り、将来的には海路や島内の陸送もドローンを使いたい考えという。

三豊市には、離島や山間に多くの集落がある。こうした地域では人口の減少が進んでおり、市はドローンによって生活の不便さを解消できれば減少に歯止めをかけられると考え、同社と協定を結ぶことにした。同社にとっても、市から研究施設の整備、実験場の提供などで支援を受けられるなど、メリットがある。

今月4日、三豊市役所で協定の締結式があり、同社の小野正人社長（43）は「離島の利便性を高めたい」と意気込み、山下昭史市長は「（離島で）物流を途絶えさせないことは大きな意味を持つ」と歓迎した。